

(様式2)

# 学校関係者評価報告書

愛媛県立内子高等学校小田分校  
学校番号 ( 33 )

評価実施日	令和5年2月27日(月)		
委員	氏名	所属等	備考
	水口 泰彰	内子町森林組合・PTA会長	地域住民
	北沖 武志	内子消防署・前PTA会長	地域住民
	山本 勝利	内子町役場・元PTA会長	地域住民
	宮内 隆司	自営業・元PTA会長	地域住民
	岡田 拓也	小田中学校教頭	地域中学校

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校経営</p> <p>小田寮第5寮の建設に伴い、生徒募集により力を入れていくようお願いしたい。昨年度に比べ、今年度の受検者数が減っていることが残念であるが、継続した情報発信をお願いしたい。魅力化推進室の活動に期待している。</p> <p>今年度は小学校、幼稚園との交流はあったようだが、中学校との交流はなかった。交流することで地元の生徒が小田分校への関心を持つようになり、受検者数増加につながると思う。</p> <p>(2) 学習指導</p> <p>小田分校での一人一人のニーズに対応した個別指導に魅力を感じている。今後も丁寧に続けて指導をお願いしたい。</p> <p>家庭学習時間の少ないことが気になる。家庭学習時間が確保できるような指導が必要であると感じる。</p> <p>(3) 生徒指導</p> <p>部活動について、中学校では同学年でチームを固めて試合をしっかりとしたいという考えが強い。部活動が理由で小田分校を選択しなかった生徒もいる。内子本校との合同チームへの理解はあるが、野球部だけ普段一緒に練習しないチームとの合同チームが良い印象ではない。</p> <p>身だしなみや基本的な生活習慣の確立を家庭でも指導しているが、学校でも統一した見方で対応してほしい。</p> <p>(4) 進路指導</p> <p>分校であっても毎年国立大学合格者を出すなど進学結果が出ていると思う。</p> <p>キャリア教育の充実は、1年生で職場見学、2年生でインターシップを実施し、勤労観や職業観を定着させている。外部から講師を招き、進学・就職共に話を聞くことは生徒にとって新鮮であり進路実現に対する考えも深まっていると感じている。</p>	<p>小田分校が魅力化推進校として継続していくには、31名以上の入学者確保が絶対条件であるので、魅力化推進室を中心に、全教職員で取り組んでいきたい。</p> <p>学習指導や部活動だけでなく、新しく企画を考え挑戦し、様々な活動を通して中学生との交流を増やしていきたい。</p> <p>習熟度別講座編成による「分かる授業」を目指して今後も学習指導を充実させていきたい。また、課題の内容や提出方法も考えていきたい。</p> <p>本校独自の「起業家教育プログラム」やプロジェクト学習を通して、幼稚園・小学校・中学校・高校と連携を図りたい。地域の活性化のために努力を続けていきたい。</p> <p>各部で本校との合同チームになって、現在土日平日も内子本校と分校でバスやタクシーを利用し活動を充実させている。本校も部活動離れ、特に運動部が深刻である。</p> <p>野球部は、高野連のシステムでは9名いれば単独で出なければならないので本校との合同チームは組めない状況である。2年2名が連合チームでも正選手として活躍している。</p> <p>身だしなみ等の指導は教職員の統一した考えで指導していきたい。</p> <p>一人一人の進路希望に合わせて個別指導を中心に指導の充実をより図ってほしい。進路実現をするためには家庭学習を充実させることが必須であると考えているので、今後も課題の内容や提出方法等について研究していきたい。</p> <p>国立大学への進学を目指す生徒から就職を希望する生徒まで生徒の進路希望が多様化・複雑化する中で、キャリア教育を今後さらに充実させていきたい。</p>
<p>2 その他(本校教育全般について)</p> <p>ホームページがリニューアルされ、更新も頻繁で、学校の様子がよく分かる。今後も続けてほしい。</p> <p>寮生に対し、新寮の建設など、地域や行政と連携しながら、物心両面で支援していただいている。</p>	<p>ホームページについては、学校の情報発信手段として最もシンプルなものだが、同一人物が作るとワンパターンに偏るので全教職員で分担して対応するようにしている。地域や行政の支援に大変感謝している。</p>